

オープンフォーラム2

【テーマ】「専門職能力開発プログラム」

【要 旨】

特定非営利活動法人日本医学図書館協会（協会）は、統合的な専門職養成プログラムを構築することを目的に、平成20年度に教育担当理事、認定資格運営委員長、教育・研究委員長からなる臨時の合同委員会を発足した。委員会は現状とニーズ把握のためにアンケート調査を行い、その結果と文献調査により得られた知見を加味して提言をまとめ、平成22年度総会で報告した。提言の骨子は「我々が目指すべき専門職とはどのようなものかを定義づけし、習得すべき知識とスキルの範囲を明確にしたうえで研修制度を整え、認定資格制度を連動させ、包括的な専門職能力開発プログラムを整備すべきである」というものであった。

それを受け、協会は平成22～24年度の中期重点目標として「ヘルスサイエンス図書館員が身につけるべき知識とスキルを明確にし、適切な専門職能力開発プログラムを策定する」を掲げ、以後専門の委員会（「専門職能力開発プログラム推進委員会」、後に「専門職能力開発委員会」）を設置して、提言の実現に向けて検討を重ねてきた。

中期重点目標の最終年度にあたり、平成24年度に当委員会の活動成果として「医学図書館員の倫理綱領」を含む「専門職能力開発プログラム」の成案（案2）を得た。当フォーラムでは、「倫理綱領」「知識とスキル」「モデル活動」「カリキュラム」「研修」「認定資格制度」を包括する広範なプログラム案について、会員の理解を深めるために概要を説明し、次のステップとなるプログラムの実施に進むにあたっての課題を共有するために、ディスカッションを行う。

【司 会】 慶應義塾大学文学部図書館・情報学専攻・協会理事

酒井 由紀子

【発表者】 杏林大学医学図書館・専門職能力開発委員長

諏訪部 直子

【記 録】 東邦大学医学メディアセンター・専門職能力開発委員

佐山 暁子

専門職能力開発プログラム：資料 1 プログラム概略

業務レベル		基盤レベル	レベルⅠ		レベルⅡ				
		図書館の一般的業務	医学図書館の基礎的知識と業務		医学図書館の発展的知識とスキルおよび実務実績				
認定種類・要件 (資料5)			基礎						
			①倫理綱領(資料6)の承諾 ②経験2年 ③コア研修修了 ④ポイント40 ⑤司書資格 ※モデル活動の提示は不要						
			中/上級						
			①倫理綱領(資料6)の承諾 ②学協会活動 5/10ポイント ③経験 5/10年 ④ポイント 70/100 ⑤モデル活動or資格証明 3/6単位(レベルⅠ or Ⅱ) ⑥TOEIC 540/730相当						
1	分野	領域	カリキュラム/資格	知識とスキル	研修	知識とスキル	モデル活動	研修	
	0	特:医学図書館員の プロフェッショナルイズム	「医学図書館員のための倫理綱領」 に沿った行動						
	A	保健・医療	①医学知識						
			②社会における医学および保健医療にかかわる制度や政策						
B	保健・医療分野の情報サービス	③利用者の情報ニーズと情報提供サービス							
		④医学情報資源や資料の管理							
2	情報サービスの基盤	⑤情報技術	司書課程/司書	(資料2)	(資料3・5)	(資料4・5)	(資料2)	(資料3・5)	(資料4・5)
		⑥教育に必要な知識・技能							
		⑦科学的研究に関する理解と自身で研究を進める能力							
3	ビジネススキル	⑧マネジメントスキル							
		⑨個人の特性							
		⑩外国語							

専門職能力開発プログラム:資料 2 知識とスキル

	必要な知識とスキル等		基盤レベル		レベルII	
	分野	領域 「医学図書館員のための倫理綱領」に基づいた行動	図書館の一般業務 知識とスキル等詳細	医学図書館の 入門的知識とスキルをもとにした基本的業務 知識とスキル等詳細	医学図書館の発展的業務 知識とスキル等詳細	
グループ 0	特 医学図書館員の プロフェッショナリズム				「医学図書館員のための倫理綱領」を規範とした、日本医学図書館協会活動への参加等、専門職にふさわしい行動	
1	A)保健・医療 分野の情報サービス	① 医学知識			医学研究の最新動向に関する知識と理解、あるいは医学研究に対する高度な知識と理解	
		② 社会における医学および保健医療にかかわる制度や政策			保健・医療をとりまく制度や政策と社会情勢の最新動向に関する知識と理解、あるいはそれらに対する高度な理解と知識	
		③ 利用者の情報ニーズと情報提供サービス			医学図書館サービスの最新動向に関する知識と理解、あるいはそれらに対する高度な理解と知識および要需のためのスキル	
		④ 医学情報資源や資料の管理			医学医療情報資源の最新動向に関する知識と理解、あるいはそれらに対する高度な理解と知識および提供のためのスキル	
2	C)情報サービスの基盤	⑤ 情報技術	一般的な図書館資料の収集、組織化や管理に関する基礎知識とスキル	保健・医療の専門家および患者や一般市民の医学医療情報ニーズや情報行動に関する基礎知識	保健・医療分野で特微的なデータベース、システムやネットワーク環境に關した図書館業務遂行に必要な、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークを管理・維持、あるいは開発するための知識とスキル	
		⑥ 教育に必要な知識・技能	一般的な図書館等における業務遂行に必要なハードウェア、ソフトウェア、ネットワークに関する知識とスキル	専門家向けおよび患者や一般市民向けそれぞれの医学医療情報資源とその管理に関する基礎知識	統合的な情報リテラシー教育の専攻や、専門に基づき改革、新しいプログラムの開発等、発展的な利用者教育プログラム推進に必要な知識とスキル	
		⑦ 科学的研究に関する理解と自身で研究を進める能力	一般的な図書館等における利用案内等、基礎的な利用者教育に必要な知識とスキル	科学研究に関する基礎的理解と、日常業務の改善や発展に必要な調査研究と業務への応用に関する基礎知識とスキル	医学分野の研究者やサイエンスや医療情報学に関する高度な理解と、図書情報学あるいは医療情報学の調査研究に必要な知識とスキル	
3		⑧ マネジメントスキル	一般的な図書館等の業務遂行に必要な自己管理に関する基礎的な知識とスキル	医学図書館に特微的な環境(利用者、母体組織、内部組織)の中で業務遂行上必要な管理に関する知識とスキル	医学図書館に特微的な環境(利用者、母体組織、内部組織)の中で、リーダーとして必要な管理に関する知識とスキル	
	D) ビジネス遂行能力	⑨ 個人の特性	一般的な図書館等の業務遂行に必要な基本的個人の資質	医学図書館に特微的な環境(利用者、母体組織、内部組織)の中で業務遂行上必要な個人の資質	医学図書館に特微的な環境(利用者、母体組織、内部組織)の中で、リーダーとして業務遂行上必要な個人の資質	
		⑩ 外国語	一般的な図書館等の業務遂行に必要な簡易な業務量の英語能力	医学図書館に特微的な英語を始めとする外国語の情報源を扱ったり、外国語を母語とする関係者との最低限のコミュニケーションに必要な大学卒業程度の英語力	医学図書館の発展的な業務や関連の調査研究、外国語を母語とする関係者との直接的コミュニケーションに十分な英語力	

専門職能力開発プログラム：資料 3 モデル活動（案）

番号	活動カテゴリ	基盤レベル 図書館の 一般的業務	レベル I 医学図書館の基本的業務	レベル II 医学図書館の発展的業務
			情報提供サービス	
1	パブリックサービス		・医学・関連分野の閲覧業務 ・利用者の顕在的ニーズを把握する²⁾ ・利用者からのフィードバックをサービスに反映させる²⁾ ・資料を ILL サービスにより提供する²⁾ ・案内、マニュアルを整備、配布する¹⁾ ・館内表示を配置する¹⁾ ・ICT を応用したサービスの動向について、情報収集を行う⁴⁾	・論文作成のコンセンサスを務める ・保健・医療分野のレビュー作成に参画する ・利用者の顕在的・潜在的ニーズを把握する²⁾ ・所属組織の目的、利用者のニーズに合致したサービスの目的と内容を明文化し、具体的な計画をたてる¹⁾ ・利用者ニーズ、医学図書館の目的、法律に沿った利用規則を策定する¹⁾ ・ICT を使った新しいサービスを提案、実施する⁴⁾ ・クリニカルライブラリアンを務める⁴⁾ ・リエゾンライブラリアンを務める⁴⁾
			レファレンスサービス	
			・保健・医療分野の基本的なレファレンスツールを使う ・クイック・レファレンス¹⁾ ・資料の所在調査¹⁾	・調査支援¹⁾ ・情報処理、加工（翻訳、抄録、SDI、CA など）¹⁾ ・市民を対象としたレファレンスを行う⁴⁾
			電子リソースの管理・提供	
			・ウェブページ更新 ・電子リソース管理ツールの技術や動向を把握する⁴⁾	・電子リソース管理ツールを評価し、導入や切替えを提案する⁴⁾
			情報提供サービスのためのデータベース利用	
			・文献・情報検索の代行や支援¹⁾	・医療情報データベースを使う（例：Micromedex） ・診療ガイドラインのための文献検索を行う
			館内の環境整備 ¹⁾	
			・外国人利用者、障害者への配慮をする¹⁾	・サービスに合わせた施設・設備の基本計画を作成する¹⁾
			図書館間協力（サービス面） ¹⁾	
			・各館の資源を共有する¹⁾ ・ネットワーク活動を活用し、利用者に等しくサービス提供する¹⁾ ・ネットワーク支援サービス⁴⁾	・様々なレベル、領域のネットワークに参加し活動の計画・推進に参加する¹⁾
			所属組織支援サービス ⁴⁾	
			・研究業績データの収集・入力等の実務を行う⁴⁾	・研究業績管理システムの開発、管理、評価、導入の提案、導入を行う⁴⁾
			広報 ⁴⁾	

		・自館の資料、電子リソース、サービスを理解し効果的な広報をする⁴⁾	・医学図書館のブランディングを行う⁴⁾ ・広報活動の実施と評価を行う⁴⁾
		資格	
2	テクニカルサービス	電子リソース契約業務 ・契約形態、パッケージの種類等、購読の判断に必要な基本情報を収集する⁴⁾ ・電子ジャーナル利用統計を集計する⁴⁾	・利用者のニーズにあった電子リソースを選定し、価格交渉を行って一定の予算内で契約を行う³⁾ ・利用統計等から契約対象の見直しを行う³⁾ ・契約書に沿ったアクセス提供を維持する³⁾ ・継続トラブルの問題を見極め迅速に解決する³⁾ ・代理店、出版社、コンソーシアム団体などと交渉する⁴⁾ ・コンソーシアム参加の判断を行う⁴⁾ ・契約書の内容を理解している⁴⁾
		主題分析	
		・医学関連分野資料の、主題目録作業(件名や分類付与)を行う	・医学論文の件名付与(MeSHなど)の作業を行う
		選書	
		・医学生、医学研究者、医療専門家向けの選書を行う³⁾ ・収集方針に沿って資料の選択・受入を行う¹⁾ ・資料の選択・受入に必要な資料を備え、スクリーニングする¹⁾ ・利用者のニーズを把握する²⁾ ・出版・メディアについて情報収集する²⁾ ・電子資料の提供について検討する²⁾ ・自館の蔵書構築方針、選書方針を把握する⁴⁾ ・自館が取り扱う主題の基本図書・雑誌を把握する⁴⁾	・一般向け健康医療情報の選書を行う ・明文化した収集・除籍方針を作成する²⁾ ・蔵書構築、資料の特性、利用者のニーズ、予算等を考慮した選書を行う²⁾ (or 選書担当部門に提案する⁴⁾) ・図書館間協力としての分担収集²⁾ ・保存の方針を検討する²⁾ ・組織内の学位論文、診療記録、歴史資料、その他を収集・処理・提供する¹⁾
		目録	
		・総合目録へ所蔵登録する²⁾ ・専門書の分類をする⁴⁾ ・総合目録へ書誌を新規登録する⁴⁾	・多面的な検索が可能な目録を整備する¹⁾
		資料管理 ¹⁾	
		・製本、書架整頓、資料点検などにより環境を整える¹⁾	・医学図書館資料全体を把握し、質の維持に責任をもつ¹⁾ ・定期的な資料の見直しや、統計を資料の質の維持にいかす¹⁾
		図書館間協力(資料面) ¹⁾	
		・重複資料を交換する²⁾ ・分担収集・保存を行う¹⁾	・医学図書館ネットワークの分担収集の範囲を定義する¹⁾
		資格	

3	マネジメント		計画立案	・組織機構における医学図書館の位置・役割を認識する²⁾ ・担当業務の計画、実行、報告、評価を定期的に実施し、改善を行う³⁾ ・医学図書館の運営方針、規程などに基づいた業務計画を実行する	・長・短期計画をたてて、方針を明文化する²⁾ ・医学図書館の目標や方針を、母体組織の目的や計画と調和して明文化する³⁾ ・医学図書館規程において、利用者ニーズを反映した管理運営方針を明らかにする¹⁾ ・運営について検討する委員会を設置する¹⁾ ・医学図書館の担当業務内容・範囲を記載した業務規程を作成する¹⁾ ・内部組織、業務内容の点検を行い、目標に対する評価の仕組みを設ける¹⁾
			PR		・医学図書館の役割や重要性について館外からの理解を得る²⁾ ・新規広報計画を立て、実行する³⁾ ・医学図書館のブランディングを行う⁴⁾
			人材配置 ²⁾	・業務分担、人材配置に基づいて適切に業務を行う ・業務改善のため、業務執行に対して評価を行う	・一定の条件のもとに、人事部門と調整して、募集、選考、採用をし、必要な人材を確保する³⁾ ・サービスにみあった適切な人材活用を行う²⁾ ・人材の評価、研修、モチベーション向上を行う³⁾ ・職員を質・量ともに確保し、適正に配置する¹⁾ ・管理者は、職員の教育研修、調査研究の機会と援助を与える¹⁾
			予算管理		
				・予算執行計画に基づき執行し、記録を残す¹⁾ ・サービス実績と予算執行を評価するために必要な統計データを集計し、分析する	・活動計画に基づいて、予算編成を行う¹⁾ ・所属組織に対して医学図書館活動の重要性を主張し、必要な財源を獲得する¹⁾ ・サービス実績と予算執行を評価し、今後のサービス計画にいかす¹⁾ ・医学図書館サービスのために外部資金を獲得する
			施設・備品管理 ¹⁾		
				・コンピュータ関連機器、通信機器など必要な機器備品を整える¹⁾ ・効果的な館内表示計画を立てる⁴⁾	・利用、収蔵、業務のためのスペースを、必要面積、配置を考慮して決定する¹⁾ ・利用上、業務上で快適性、安全性を保つための設備を整える¹⁾
			連携 ⁴⁾		
				・関連部署との連携に必要な実務を担当する	・所属組織と医学図書館の目的と計画を達成するために、関連部署と連携する⁴⁾
			資格		
4	情報技術		電子リソースの管理		

		・ウェブページ更新 ・電子リソース利用のための情報環境を理解し、情報技術部門と連携して利用支援を行う³⁾	・ウェブページの運営方針を決定する ・ウェブページの評価を行う⁴⁾ ・データベース、ウェブページ、ネットワーク、医学図書館システム、機関リポジトリ、リンクリゾルバ等のシステム開発、維持管理を行う
		ソフトウェアの利用の環境整備 ¹⁾	
		・ソフトウェアのインストール ・ソフトウェアの高度な機能を使う ・外部の多様な電子情報が提供できる環境を用意する¹⁾	・ハード・ソフトウェアを整備する²⁾ ・コンピュータの利用状況を点検し、現状の評価検討を行う¹⁾ ・研究者と協力し、コンピュータ利用に関する研究開発、教育に参加する¹⁾
		図書館システム ¹⁾	
		・図書館システムを利用して円滑に業務を行う	・電子ネットワークを利用して業務を効率的なものにする²⁾ ・図書館システムを有効に利用してサービス向上に努める¹⁾
		資格	
		・マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS) ・情報技術者試験レベル I (IT パスポート試験)	・情報処理技術者試験レベル2以上
5	研究開発	研究調査を行う ・業務にかかわる事例報告や業務分析等の調査研究を行い、口頭や論文で発表する²⁾ ・共同研究・調査を実施する²⁾ ・利用者の声を反映して、サービスの改善を行う³⁾	・図書館情報学分野、医療情報学分野の論文執筆や研究口頭発表を行う¹⁾ ・業務に必要な調査研究を遂行する ・図書館情報学分野の論文からエビデンスを抽出して実務に応用する ・医学図書館サービス評価やニーズ調査のために利用者調査を実施し、サービスの改善や開発に役立てる³⁾
		発表などを行い共有・情報交換する ²⁾	
		・学んだことを報告・発表し共有する²⁾ ・他の図書館員と情報交換する²⁾	・自発的・継続的な学習を行い、専門知識・技術の習得に努める²⁾
		資格	
		・修士号取得	・博士号取得、博士課程修了/単位取得退学
6	教育	講師を務める ・オリエンテーションや図書館ツアーで基本的な医学図書館の使い方を教える³⁾ ・セミナー等で利用者にデータベースや文献管理ソフトウェアの概要・使い方を説明する ・情報リテラシーを向上させる利用者教育を行う²⁾	・EBM の概念に基づく文献検索概論を教える ・保健・医療分野の情報リテラシー教育を行う ・情報・コンピュータの利用教育を行う¹⁾ ・計画的な教育プログラムを用意する¹⁾ ・教育プログラムの評価を行う⁴⁾ ・保健・医療分野の正式カリキュラムの情報解決型の科目に協力参加する³⁾ ・教材を開発する¹⁾

			・医学図書館員向けの各種公式研修プログラムで、講師を務める
		論文作成支援	
			・論文作成コンシェルジュを務める ・学会発表・論文作成を支援する ¹⁾
		資格	
7 研究支援		医学研究分析	
		・EBM の概念を習得する ⁴⁾ ・医学論文を記事の種類や掲載雑誌の影響度からフィルタリングする	・医学論文の批判的吟味を行う ・医学論文を研究デザインやエビデンスの高さからフィルタリングする ・保健・医療分野のレビュー作成に参画する ・システムティックレビューや発展的な情報リテラシー教育で医学論文を活用する
		診療ガイドラインの作成に参画	
			・診療ガイドライン作成委員会で研究デザインやエビデンスレベルの評価を行う ・システムティックレビューを行う
		論文作成支援	
			・論文作成コンシェルジュを務める
		資格	

参考とした資料

- 1) 医学図書館のガイドライン. 日本医学図書館協会, 1994.
- 2) 21 世紀の医学図書館. 日本医学図書館協会, 1996
- 3) Position descriptions in health sciences libraries: traditional and emerging roles. MLA, 2012. (MLA Docket #16)
- 4) Introduction to health science librarianship. M. Sandra Wood (ed). Haworth Press, 2008.

専門職能力開発プログラム：資料 4 研修 (案)

グループ	必要な知識とスキル等		基礎レベル 図書館の		レベルⅠ 医学図書館の		レベルⅡ 医学図書館の基本的業務/発展的業務	
	分野	領域	研修	カリキュラム	研修	カリキュラム	研修	カリキュラム
0	特: 医学図書館員の プロフェッショナルリズム	「医学図書館員のための倫理綱領」 に沿った行動				コア01: 日本医学図書館協会の活動と 医学図書館員のプロフェッショナルリズム コア02: 医学の学問体系とMeSH/NLMC コア03: 医学資料論 コア04: PubMed/ 医中誌Web検索初級 コア05: 医学図書館の利用者の特徴とサービ ス コア06: 一般市民への医学・医療情報提供		例) A) 保健・医療 ・EBMと図書館員の役割 ・EBMのための批判的吟味 ・医学史と古書セミナー ・医学研究アップデート ・医学系特許 B) 保健・医療分野の情報サービス ・医学図書館利用者の情報行動 ・医学図書館員のための臨床支援ツール ・電子リソースの契約と管理 ・PubMed/ 医中誌Web中級編 ・PubMed/ 医中誌Web上級編 ・医薬品情報の探し方 C) 情報サービスの基盤 ・統計学 ・研究評価 ・医学図書館における教育プログラム実践 ワークショッ ・文献管理ツール ・著作権 ・看護研究と情報源 ・医学図書館員のための調査研究 D) ビジネス遂行能力 ・医学図書館のマーケティング戦略 ・医学図書館のマネジメント ・医学図書館のサービス評価 ・医学図書館における英会話セミナー
1	A) 保健・医療	① 医学知識			JMLAコア			
		② 医学研究、医療政策等、医療を取り 巻く情勢、問題点に関する理解						
		③ 利用者の情報ニーズと情報提 供サービス						
	B) 保健・医療 分野の情報サービス	④ 医学情報資源や資料の管理						
2	C) 情報サービスの基盤	⑤ 情報技術 ⑥ 教育に必要な知識・技能 ⑦ 科学的研究に関する理解と 自身で研究を進める能力 ⑧ マネジメントスキル ⑨ 個人の特性 ⑩ 外国語	司書課程				JMLA-CE JMLA研究会	
3	D) ビジネス遂行能力							

専門職能力開発プログラム：資料5 研修・認定資格制度（案）

I. 研修機会

1. JMLA コア

対象：ヘルスサイエンス分野の情報サービスの基礎を学びたい方

（他分野からの異動、転職含む）

目的：ヘルスサイエンス図書館特有の基礎知識・スキルを習得する

内容：医学図書館の基礎レベルに相当する6科目（04:カリキュラム案参照）

機会：年1回独立、夏季、開催地は検討中

方式：集合形式、将来的に個別科目での実施や遠隔・地区会での実施も考慮

2. JMLA 継続教育コース

対象：ヘルスサイエンス情報サービスに携わり、専門性を高めたい方

目的：ヘルスサイエンス図書館特有のモデル活動（レベルI、II）実現のための知識とスキル等の習得およびビジネス遂行能力の訓練

内容：定番科目および最新動向に関する科目

機会：総会前日、研究会前日・後日、地区会当日

方式：講義・演習（ビジネス遂行能力を用いた相互形式を推奨）＋将来的に遠隔も考慮

3. 新研究会

対象：ヘルスサイエンス情報サービスに携わる方・目指す方

目的：図書館員による調査研究・エビデンスベーストプラクティスの推進、最新知識習得

内容：自由テーマの研究発表および最新トピックのシンポジウム

機会：年1回独立、開催地は受検討中

方式：集合形式

*ビジネス遂行能力（グループ3）は単独の教育プログラムは提供しないが、JMLA コア、継続教育コースなど各種研修の中で講義・演習の形式に取り込む工夫を推奨する。

II. 認定資格

1. 基礎要件

- 1) 司書資格
- 2) 倫理綱領に対する宣誓の署名(※新規)
- 3) 5年以内に合計2年間のヘルスサイエンス情報関連機関の実務経験
- 4) JMLA コア研修受講(※現在の基礎研修会や研究会＋継続コースとは異なる内容)
- 5) ポイント数 過去3年間で40ポイント以上

2. 中級要件

- 1) 基礎資格
- 2) 倫理綱領に対する宣誓の署名(※新規)
- 3) 5年以上の実務経験
- 4) ポイント数 過去5年間に70ポイント以上(更新は50ポイント)
- 5) 専門職団体での活動10ポイント以上
- 6) レベルⅠまたはⅡのモデル活動または関連する資格証明3単位(※新規)

3. 上級(新規)

- 1) 基礎または中級資格
- 2) 倫理綱領に対する宣誓の署名(※新規)
- 3) 10年以上の実務経験
- 4) ポイント数 過去5年間に100ポイント以上(更新は70ポイント)
- 5) 専門職団体での活動20ポイント以上、JMLAに関する活動5ポイント以上含む
- 6) レベルⅠまたはⅡのモデル活動または関連する資格証明6単位(※新規)

4. 特記

- ・現在の「基礎」は、改定案と要件は異なるが、永年認定なのでそのまま残る。
- ・現在の認定取得者に改めて新研修プログラム参加の義務はない。
- ・モデル活動の単位数は、レベルⅠは1項目1単位、レベルⅡは1項目2単位とする。

以上

専門職能力開発プログラム：資料 6 倫理綱領（案）

医学図書館員のための倫理綱領（案）

JMLA Code of Ethics for Health Sciences Librarianship

2012/11/12 改訂

2013/03/29 改訂

この綱領は、保健・医療その他関連領域の情報サービスに携わる専門職（以下、医学図書館員）の倫理的規範の枠組みを規定するものである。

医学図書館員は、医療、教育、研究における意思決定に情報が必要であることを認識する。また、情報に基づく意思決定を保証するために社会、利用者、組織に奉仕し、それにより保健・医療その他関連領域の進歩発展に寄与する。

社会への奉仕

- ・医学図書館員は、医学・医療の専門家および一般市民が保健・医療その他関連領域の情報にアクセスし、より広く高度な知識を習得することを推進し、情報に基づく意思決定を促進する環境を創出して維持する。
- ・医学図書館員は、利用者が情報へアクセスする機会の尊重と、著作者の権利の尊重に努める。

利用者への奉仕

- ・医学図書館員は、利用者を差別せず、情報ニーズに応える。
- ・医学図書館員は、プライバシーを尊重し、職務上知り得た利用者の秘密を守る。
- ・医学図書館員は、入手しうる限りで最善の情報を利用者に提供することを保証する。

組織への奉仕

- ・医学図書館員は、所属する組織の情報ニーズや目的に合致した情報システムとサービスの開発や維持のために、リーダーシップと専門性を発揮する。

資料への責務

- ・医学図書館員は、個人的信条によらず専門的知識と的確な判断とに基づいて、中立な立場で資料の収集、組織、保存、提供に努める。

専門職としての規範的行動

- ・医学図書館員は、専門職としての哲学や理想を掲げ発展させる。
- ・医学図書館員は、専門職としての知識技能の向上と共有に努め、その水準の発展に邁進する。
- ・医学図書館員は、礼儀と尊重をもって職業上の人間関係を良好に保つ。
- ・医学図書館員は、常に専門職としての誇りと自覚をもち、高い品位を保つ。
- ・医学図書館員は、専門職として研鑽に努める。
- ・医学図書館員は、所属する組織の倫理的規範及び法的・社会的規範に沿って行動する。